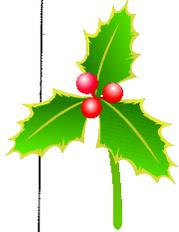


若園Box席 近づく卒業 後悔しないよう



最高学年の6年生になって半年余りが過ぎました。2学期に入って、修学旅行、音楽会、卒業文集の作成などがあり、どんどん卒業に近づいています。一つ一つの行事が最後です。

(小学生 姫路市) 11歳

はじめは不安だらけでスタートした6年生。しっかりしたお姉さんになれるかな、勉強についていけるかな、楽しめるかな、と心配でした。今は、家族、友達、先生たちのおかげで思いきり楽しい小学校生活ラストを楽しんでいます。感謝の気持ちでいっぱいです。毎日、笑顔でいつてらっしゃいと送り出してくれるお母さん、学校に着くといっぱい笑わせてくれる友達がいて、分かりやすく教えてくれる先生がいてくれる先生がいます。

来年の今は中学生です。新しいクラスで友達、先生たちもみんなちがってきます。今のクラス、先生と過ごす時間を大切にしたい、あと少しの小学校生活を後悔しないように楽しんでいます。



○僕は3年年生になって、学年目標「今を大切に日々成長」という言葉の意味を感じることができた。今思い返すと、1、2年生はすぐに過ぎてもう卒業直前。確かに今を大切にしないとどんどん時間は過ぎていくと思った。普段、当たり前のように話している友達でも、行く高校によっては会う回数がどっと減るかもしれない。3年生は受験生ということもあり、人との関わり方の面と自分のための勉強の面でも今を大切にしないといけないと思った。過去に失敗したことを生かして、自分の成長もしていかなければいけない。青学年の目標の中身はとて深く、将来のための言葉になると感じた。

○思い返せば昨日の出来事のように思える小学校の卒業、中学校への入学。そして気がつけば、今はもう高校受験や中学校の卒業が目前にせまっている。時間は有限で、どんなときでも進み続けている。だからこそ、そんな時間が充実したものになるよう、1分1秒この時を大切にしたい。

○私も小学校6年生の頃、とても不安な気持ちでいっぱいでした。最後の小学校生活に悲しい気持ちもあったけど、やっぱり小学校を卒業した後の中学校生活のことで、とても不安でした。友達できるかな・・・いじめられないかな・・・勉強についていけるかな・・・高校行けるかな・・・と、色々な不安な気持ちがこみ上げてきました。

そして、今は中学3年生。また、卒業が近づいてきました。高校生になったら、小学校から同じ子たちも全員同じ学校じゃなくなります。友達、勉強のことでは不安が大きいです。でも、この中学校生活で、私はとても成長できたと思います。だから堂々と胸張って、自信を持って高校生活を過ごしたいです。

○自分も中3になって、あともう少しで卒業となつて、どうしても嫌だなと思う自分があります。せっかく2学期に仲良くなった友達もいたのに、高校に上がるとバラバラになって、離れてしまうことが凄く嫌です。ここらへんの気持ちの違いが小学校の卒業が近づいて行く時と、中学校の卒業が近づいてくる時の気持ちだと思います。中学校を卒業する時に、受験も控えているので、しっかりと勉強をして、不安をほんの少しだけ取り除いて、楽しめるような卒業式にしたいです。

○卒業まで約3ヶ月です。中学校を卒業すると、今より友達や先生と会う機会が少なくなります。また、もう一生会わない人もいると思います。来年の4月、笑顔で高校入学できるように、今の自分に足りないのは、勉強の量と質です。勉強はただ問題を解いて丸付けするのではなく、間違えたところを重点的に解き直し、理解することが大切だと思います。残りの学校生活で、友達や先生に支えられることが多いと思います。でも、入試を受けるのは自分で、結局は自分の努力次第だと思います。だから今のクラスで過ごすことにしても、勉強にしても後悔のないように努力しようと思いました。

○自分もあと少しで卒業というところまでできました。少し前に中学生になったばかりなのに早いなと思います。3年生になって、今までよりとてもプレッシャーがすごくて、部活も勉強も不安が大きかったけど、同じクラスになった友達や先生のおかげでここまで頑張れたと思ったので、ほんとうに感謝しかありません。自分は生徒会もして、体育大会や文化祭などでクラスの子たちと同じ席にすることができなかったけど、練習を一生懸命して心がつながっているように思えました。残りの少ない時間を無駄にせず過ごしたいです。

○この記事を読んで、中学校3年間は小学校の6年間よりも、思い出がいっぱい詰め込まれたものだと思います。うれしいこと、楽しいこと、悲しいこと、悔しいこといろいろな気持ちが中学校3年間にはありました。体や心が大きく成長し、親とケンカも増えたり、思ってもないことを言ったり、たくさん争いもありました。これから入試があって、クラスや青学年はバラバラになるけど、今までの思い出を忘れないようにしたいです。

○「卒業」と聞くと、今までの中学校生活の思い出が次々に蘇ってきます。1年生の時、カッコイイ先輩方の背中を見て育ち、2年生で先輩方になりました。キャプテンとして、チームをまとめるのは、とても大変で、そこで初めて先輩方の苦勞を知りました。市内総体の前日、1、2年生に初めて本気で怒ってしまいました。その後、それに応えようとしてくれていて、ほんとうに嬉しかったです。県大会ではみんな泣いていて、ほんとうにこのメンバーに会えて良かったなと思えました。さらに・・・と私はこの「NIE」には収まらないほどの経験や思い出があります。

○僕はそうは思っていませんでした。小学生の時は、はやく卒業したいと思っていました。中学校に行くということは、ランクが上がるみたいで楽しみでした。今もそうです。今も楽しけど、高校生活ももっと楽しいと思います。なので、まず勉強をして高校へ通えるようにしたいです。

○中学生になって気ままに過ごしていくうちにもう3年生への12月中旬。あっという間に時間は流れていっていることを実感している。その中で、いくつもの後悔が自分にはある。だけれど、その後悔は過去なので変えられない。だから自分はこの二見中を卒業する日まで、後悔しないようにし、この学校での時間、友達を大切にしていこうと思います。最近になって、友達も1人増えたし、これからも充実した学校生活を送るために今、思いっきり楽しみたいと思います。

○僕は小学校が楽しくなかったの、その分中学校生活を精一杯楽しんでがんばりました。勉強、部活、行事、友達と遊ぶ、などすべてに全力で取り組みました。中学校生活最後をいい気持ちで送られるように、これからの生活や勉強にもすべて全力で取り組んでいきたいです。そして高校では自分の得意な所をもっと伸ばしていきたいです。

○私は中学校に入るときに、友達ができるのか、勉強がついていけるのかとても不安でした。しかし、たくさんの個性であふれた青学年の仲間や先生方に囲まれた毎日は、私にとってとても大切なものです。家族、友達、先生方など、大好きな人たちに囲まれて毎日楽しく学校に行けたこと、みなさんに感謝しかありません。3年間という長いようであっという間の時間がこのように濃い3年間になったこと、私はこの先もずっと忘れません。残りの3ヶ月、苦しい時も楽しい時も、青学年の仲間と乗り越えられることができたらいいなと思います。涙いっぱいの卒業式になりますように！

「紙風船」

黒田三郎

落ちてきたら

今度は

もっと高く

もっともっと高く

何度でも打ち上げよう

美しい

願いごとのように